

坂井 えつ子



Vol.47

のつながる 小金井通信



緑・つながる小金井 会派ニュース

2019年第4回定例会 報告号

市長選挙では西岡真一郎さんが当選

昨年12月8日投開票の市長選挙(投票率40.86%)で、西岡真一郎さんが再選。坂井は、2期目の西岡市政に期待する旨、態度表明しました。

選挙戦を通じて、更に“反対”に踏み込んだ道路計画への見解の維持、気候非常事態宣言の実現等に向け、市政のチェック&政策提案に努めます。

候補者名	得票数
西岡 真一郎	18,579
河野 律子	10,759
森戸 洋子	10,399
立花 孝志	678

2020年度 市政運営に対する要望事項を提出

12月19日、市政運営に対する要望事項を提出しました。2020年度 市政運営に対する要望事項と市政運営における中長期ビジョンの2本立てです。市長選で当選した方と面談したかったので、例年に比べ遅い時期となりました。



要望全文は坂井HPで

小金井の今とこれからについて話そう

坂井えつ子の議会報告 & 意見交換会 vol.26

@本町2-19-6 1-105 主催：緑・つながる小金井



2月18日(火) 午後7時半～9時半

申込み不要。途中入退室OK。お気軽に!

議会や視察の概要 & フリートークも



ひとことニュース：1月は厚生文教委員会、議会運営委員会と行政視察が続きます

<坂井えつ子 プロフィール>

●1980年大阪生まれ。緑町に転入、現在は桜町在住。緑小、緑中小金井北高、日本大学法学部卒業
●日本福祉教育専門学校入学 ●2015年市議補選で初当選 ●2017年再選。厚生文教委員、庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員、議会運営委員、広報協議会委員 ●湖南衛生組合議員、三多摩上下水及び道路建設促進協議会 第3委員会(道路)、小金井市土地開発公社評議員 ●市民自治こがねい、全国フェミニスト議員連盟、緑の党、市民自治をめざす三多摩議員ネットワークなどに参加。

会員募集中! 坂井えつ子とつながる小金井の会

本町2-19-6 1-105 TEL: 090-1796-7652

Mail: info@sakaietsuko.com

年会費：一口2,000円

郵便振替口座：00130-3-652172

名称：坂井えつ子とつながる小金井の会

坂井えつ子 検索

“気候非常事態宣言”に積極的。

西岡市長 Co2削減を強力推進と発言!

坂井の一般質問で気候変動対策を求めたところ、市長はとても積極的な姿勢を示しました。

庁舎福祉会館建設や公共施設の長寿命化においても、計画的に気候変動の取組を強力に推し進めたい。学校施設でも、ぜひ進めていただきたい。気候非常事態宣言は積極的に受け止める。



西岡市長

思わぬ積極的な答弁にビックリ! 宣言実施時期や、施策の強力推進を求めています。人口や電力消費の多い都市部での取組が必要です。



気候非常事態宣言って?

気候変動の危機に関し、世界では1100以上の自治体などが宣言し 施策の充実を図っています。国内では、壱岐市や長崎県などまだ数件。

2018年、国連の気候変動サミットで当時16歳だったグレタさんのスピーチが注目を浴びました。「あなたたちは誰よりも自分の子どもが大切だと言いながら、子ども達の目の前で彼らの未来を奪っている」と。その思いや活動は世界にひろがり、昨年9月の「グローバル気候マーチ」には世界760万人が、日本全国では5000人が参加しました。



昨年12月、日本初の気候非常事態宣言に関するシンポジウムが開催され、パネル討論に登壇しました。坂井が呼びかけ人と賛同人になっている「自治体議員による気候非常事態共同宣言」を紹介。



野川とはけを壊す都市計画道路2月頃に3000人アンケート&決算不認定...詳しくは中面で

現計画の事業化に“反対”の意思表示


昨年10月31日、西岡市長は、小池都知事宛てに要望書「優先整備路線に関する要望について」を提出。そのなかで「はげと野川は、本市にとって最も大切にしている生態系豊かな自然です。」と、価値を強調したうえで、

◆ 3・4・11号線
「私、小金井市長が了解できない状況下での事業化は進めないよう求めます」

◆ 3・4・1号線
「市長として、その見直しを求めます」と、表明。

市長選のチラシでは、“市民が望まない道路は作らせない”とさらに踏み込んだ見解を示しました。



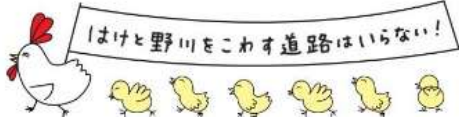
市長が都に出した要望書、及び坂井が市長に出した申入れ書は  坂井ブログ→

市民や議員の粘り強い働きかけが西岡市長を動かしたのだと考えています。坂井は、昨年10月21日『都市計画道路「3・4・11号線」「3・4・1号線」について』の申入れに行きました。市長が見解を維持し、より反対の意思を示すよう、引き続き求めています。



2月頃に3000人アンケート


市は、両路線の計画を含む都市計画マスタープランの改訂に向け、無作為抽出による3000人アンケートを実施します。その中で、両路線に対するアンケートを別に作成し、2本立てで行います。



アンケートでは、これまでに出ている反対や見直しの民意や議会意思の説明は必須！



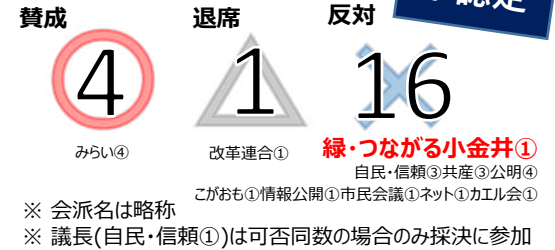
その他注目案件

◆ 市は今後、公民館本館の職員が公民館全体の統括を行い、分館は委託を進めたいという方針を示しました。公民館運営審議会からは“現場経験のない職員に公民館全体の統括ができるのか”と疑問の声が出ています。  職員は数年で異動するので、ご懸念はごもっとも！今後の審議に注目しています。

2018年度一般会計決算に反対しました

市議会は2年連続で一般会計決算を不認定としました。

地方自治法では、市長が、不認定後に措置を講じた場合、議会への報告と公表を義務づけています。



不認定

学務課職員による小中学校の水道料金等の私費払い後の対応や、難病者福祉手当の切り捨てなどを理由に反対しました。



全会一致で市長に2つの決議～17時間要した臨時会

昨年12月24日、市長選に伴う市議補選で当選された方の人事を決めるための臨時会がありました。人事はすぐ決まるも、別の2案件で時間を要し翌25日のAM 3時前に終了。



(1) 2017年市議選立候補者が市内福祉施設の個人情報盗用し選挙利用したこと
→真相解明を求める決議

対応はしているけれど、後手後手。より迅速な対応を。



(2) 市長選の確認団体チラシにQRコードを掲載していた件について。市選挙管理委員会は当初、都選管に確認し“非”としていたので、候補者がチラシを刷り直すなどの対応を取ったその数日後、総務省に確認したら、見解が“是”に変わったこと
→監査委員による監査を求める決議

市選管は、“見解が変わって、お手数をおかけした”というもの、一言も謝罪しないのに違和感。

